

# サヨウナラ。星の王子さま

星の王子さまがこの地、寄居PAに降り立ったのは今から10年前です。「星の王子さま」の著者であるフランス人アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ110回目の誕生日、2010年6月29日でした。「大切なことは心の目で見ないと見えないんだ」「一度かかわった相手には責任があるんだ」という大事なメッセージを沢山の人たちに伝えるためです。

高速運転で緊張し、疲れているドライバーの皆さんをはじめ、日頃のお仕事や家事、勉強でなかなか心にゆとりを持たない方々に綺麗な花を眺めたり、美味しい食事で癒され、自分自身を俯瞰で見つめることが出来るようにとこの星の王子さまPAは創られました。

奇しくもPAは空から見降ろすと象を呑み込んだヘビと同じ形をしています。これまでになかったテーマパーク星の王子さまPAを気に入っていただけでしょうか？

星の王子さまのふるさと星B612のように小さな場所ですがとても多くの人々にこの地を訪れていただき触れ合うことが出来ました。ありがとうございます。

王子さまはこれからもここ寄居PAで皆さんへメッセージを伝えたいのですがこの地を去らねばなりません。居続ける事は出来ないのです。世界中が恐ろしい病に侵されているこんな時だからこそ、星の王子さまのメッセージが必要なのに王子さまが去ることは皆さんにつらい思いをさせるかもしれません。でも、王子さまはここには居られないのです。2021年3月31日の夜、バラの待つふるさと星B612へ帰ります。

夜になったら空を眺めてくださいね。

星があんなにきれいに輝いているのはそこに星の王子さまがいるからです。星がキラキラしているのは星の王子さまが笑っているからです。星の王子さまはずっと皆さんのそばにいます。

「大切なことは心の目で見ないと見えないんだよ」って。忘れないでくださいね。

さようなら。

